

Rotary



稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年(1963年)12月6日 会長：永井伸治／副会長：小島洋一
 例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 幹事：金森貴史／編集：広報会報委員会
 例会場：尾張大國霊神社(国府宮) E-mail: rcinazawa@gmail.com
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL: <http://www.inazawa-rc.org/>
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1(林商事ビル1階)
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-89-0265 事務局携帯電話 090-4853-5262



世界に希望を生み出そう

2023-24 RI会長
 ゴードン R. マッキナリー

～稲沢RC2023-24年度会長方針～
 創立60周年を祝おう ROTARYで
 つながろう 未来へつなげよう

本日の例会プログラム 第2836回例会 10月4日(水)

例会場：尾張大國霊神社 幸福例会 会員表彰
 第4回理事会



第2835回例会報告9月27日(水)晴れNo.11

☆点 鐘 ☆	会長 永井伸治
☆司 会 ☆	会場委員長 近藤尊敬
☆唱 和 ☆	インターアクトの歌 四つのテスト
☆ビジター ☆	
☆会長挨拶 ☆	会長 永井伸治



明後日(29日)は中秋の名月です。旧暦8月15日を中秋と言います。旧暦における秋は7月から9月で、8月15日がその3か月のちょうど真ん中にあたるからです。

月の満ち欠けを基準にしていた旧暦では、各月の朔日は新月、15日には満月となり、特に中秋の満月は一年の中でも最も美しいと言われています。

この中秋の満月を観月する「お月見」という風習は、もともと「中秋節」と言う中国の習慣が平安時代に日本に伝わってきたものだそうです。当初は貴族の間で、中秋の名月を眺めて和歌を詠む「観月の宴」を催して楽しんだそうですが、江戸時代には庶民にまで広がりました。農作物の収穫時期と重なるため収穫祭としての意味合いが強くなり、収穫への喜びを分かち合い、大自然に宿る神々への感謝を捧げる習慣として定着しました。

お月見のお供え物といえば、月見団子が連想されますが、これも中国伝来に由来しているそうです。中国では伝統菓子である月餅を供える風習がありますが、日本では芋類や豆類を供え、形を変え今の月見団子になったそ

うです。サトイモやサツマイモなどを供えて「芋名月」と呼ぶ風習の地域も多くあります。

団子と共に供えられるものにススキがあります。ススキには邪気を払う力があると考えられており、中秋の名月のススキには、災いなどから収穫物を守り、次の年の豊作を願うという意味も込められているそうです。地域によっては、その一年を災いなく過ごすことができるように、お供えしたススキを捨てずに庭や水田に立てたり軒先に吊るしたりする風習がある所もあるそうです。

その昔、農民たちは月の満ち欠けで時の流れを計り、季節の変化を感じ取って農作業をしていました。そんな農民たちにとって、秋は作物の収穫期です。月が満ちた姿を模した丸い団子は、豊作への祈りや感謝はもちろん、物事の結実や幸福の象徴ともされ、供えた後の団子を「お下がり」として食べることで健康と幸福を得られると考えられていました。

私たちが子供のころ、1969年7月20日、アメリカの有人宇宙飛行船アポロ11号が初めて月面着陸してからは、月の存在そのものが「神秘」から「科学技術競争の対象」に変化してきたようですが、日本人として、漆黒の闇に浮かぶ美しい月を愛でる気持ちは持ち続けたいものです。



★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 加藤太平

会員総数	56名	前々回修正	9月6日
出席	35名	出席	39名
会員数	(内免除 6名)	会員数	(内免除者 7名)
欠席者数	21名	メイクアップ数	3名
	(内免除者 6名)		
出席率	70.00%	修正出席率	85.71%

☆例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メイクアップ会場

今週のメイクアップ 山脇敏夫 (B.D) 金森貴史 (B.D) 石黒港 (C.O.M)

☆例会日程☆

10月11日(水)	10月14日(土)	10月18日(水)12:30	10月25日(水)
休会(定款7-1)	秋の家族会 ホテルインディゴ犬山有楽苑	イニシエーションスピーチ IAC例会(17:00)	例会日変更(14日へ振替)

～Today's Information～ ◆◆報告事項◆◆

◆◆幹事報告◆◆

幹事：金森貴史

◆10/17 火曜日の西尾張分区ゴルフ競技会参加者に組み合わせ表を配布しました。

◆地区の委員長会議等に出席された方は、週報へ報告を掲載するので出席後速やかに報告書を提出してください。会議の様子が分かる写真もあれば一緒に事務局へ送ってください。

◆10月は米山月間です。ロータリー米山記念奨学事業豆辞典を配布しましたのでぜひご一読ください。

◆ ◆ ニコボックス報告 ◆ ◆
報告者：ニコボックス副委員長 鵜飼博信

前月ニコボックス (くじ・花含む)	121,000 円
2023-24 年度 累計	541,000 円

永井 愛知啓成高等学校インターアクトクラブの皆さんをお迎えした喜び

小島 海外研修報告に愛知啓成高校 IAC の皆さんもお迎えして

樋田 インターアクトクラブの皆さんようこそ

入山 娘が結婚することになりました。二人の幸せそうな顔を見るとやるせない気持ちも氷解していきました。

山田・吉川(貴)・伊藤(浩)・奥業務多忙 早退のお詫び

山内 例会欠席のお詫び

永井・小島・金森・鵜飼・入山・近藤(尊)

卓上花を頂いて

◆ ◆ 会員組織委員会報告 ◆ ◆
報告者：会員組織長 加藤太平

○10月 100%出席表彰者 (8月末調べ)

森 望	8年6ヶ月	入山 太郎	5年6ヶ月
渡邊 京子	7年	後藤 貴浩	3年6ヶ月
新井 仁志	6年6ヶ月		

○10月在籍表彰

塚本 胤男 50年

◆ ◆ 親睦活動委員会報告 ◆ ◆
報告者：親睦活動委員長 新井仁志

○10月の誕生日祝福

大宮 隆志	8日	森 望	15日
鵜飼 博信	12日	近藤 尊敬	20日
服部 孝徳	14日	新井 仁志	30日

○会員夫人誕生日

近藤 治夫 夫人	礼子 様	17日
山脇 敏夫 夫人	由美子 様	18日

○結婚記念日

鬼頭 好信	4日	横井 定	15日
吉川 貴祥	7日	加藤 亮介	19日
山脇 敏夫	9日	伊藤 正弘	21日
塚本 胤男	12日	樋田 文裕	28日
橋本 嗣治	14日	鈴木 杏奈	31日

◆◆第36回インターアクトクラブオーストラリア海外派遣研修◆◆

報告者：愛知啓成高等学校インターアクトクラブ

葛谷 杏奈
黒田 侑里
平松 和貴

地区文書から抜粋

地区インターアクト委員会の活動として実に4年ぶりに海外派遣研修を再開することと致しました。

2023-24年度には第35回インターアクトクラブ海外派遣研修が安全に確実に実行できることを前提に、開催地をオーストラリア国ブリスベン、日程を7泊8日(7月26日出発、8月2日帰国の予定)にて実施させていただきます。

研修目的：

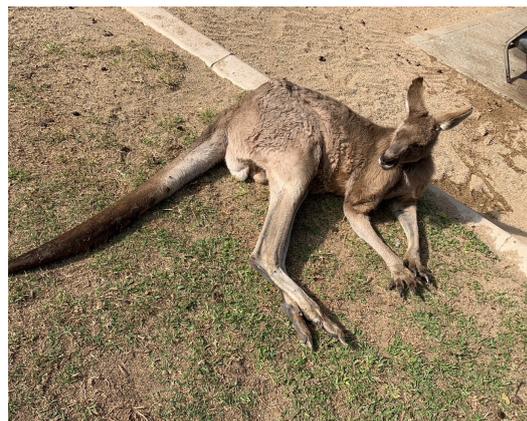
- 1) 地区内のインターアクトクラブメンバーと出会い交流する中で、互いの思いやりの心自立心とリーダーシップを育む
- 2) グローバルな語学交流体験の中で自身の可能性を感じ、今後の活動へ繋げる。



ゴールドコーストに到着



Union Institute of Language (UIL) 語学研修



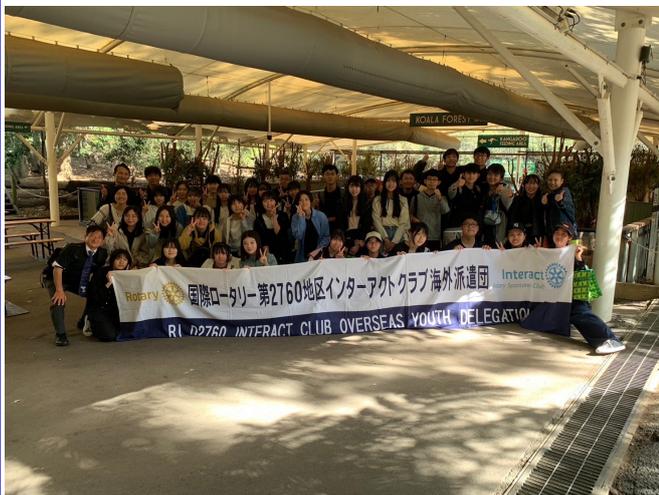
マウントクーサー・ローンバインコアラ保護区



ブリスベンツアー



マウントクーサ展望台



◇◇「地区内クラブ社会奉仕委員長会議 報告◇◇
 報告者：社会奉仕委員長代理 幹事 金森貴史

9月29日（金）に地区内クラブ社会奉仕委員長会議
 に出席してまいりました。酒井ガバナーのご挨拶から始
 まり、地区内クラブの取り組み発表や2名の外部講師に
 による講話、補助金委員会委員長の藤野さんの話を聞いて
 今後のクラブ運営に役立つような奉仕活動の実例や考
 えを学ぶことができました。

事例発表は江南RC「江南子ども食堂@キッチンカー
 &ワークショップ」、名古屋千種RCは児童養護施設の
 子どもたちとのスポーツ交流イベント（ボーリング大
 会）や子ども食堂への支援、名古屋錦RCはビオトープ
 改修（ガバナー特別賞）と子ども農業体験（田植え・稲
 刈り）、岡崎東RCはRCC活動の発表とたくさんの事
 例発表が行われました。

講話は愛知県環境局環境政策部の戸田様によるSD
 G s 環境に取り組む活動報告と特定非営利活動法人
 ぶくぶくばるーん 代表 大竹様の活動報告です。

特にぶくぶくばるーん代表大竹様の話は幼い息子さ
 んを病気で亡くされたのですが、その闘病中に体調が悪い
 時でも大好きな「ベイブレード」で遊ぶときはとても生
 き生きとした目で遊んでいた、それを見て子どもが笑顔
 なれば親も笑顔になると気づかされ今日の活動を続け
 ていますと話されたのですが、この話の途中から会場の
 あちらこちらでロータリアンが号泣していました。

大変内容が濃い会議で45分延長するほどでしたが、
 今後のロータリー活動にしっかりと生かしていきたい
 と考える時間でした。



--	--